

アメリカにおける南アジア研究の一側面

—— 雑誌論文を中心としての覚え書き ——

まえがき

海外におけるアジア研究は近年一段と進歩を見せ、問題の取り上げ方、接近方法もしだいに確立の過程をたどりつつある。こうした海外でなされるアジア研究の姿容過程ないしは実情をつまびらかにしようという試みは、その多くが外国人（たとえばオーストラリア人）が自国におけるアジア研究を紹介するとか、あるいはアジアの側から見た外国のアジア研究紹介（たとえばインド人によるアメリカのインド研究紹介）といった類のものであったし、現在でも多分にそうであるが、最近はさらに外国人が自国外におけるアジア研究を紹介するといった例も現われている——たとえばアメリカ人 O. E. Clubb (1958, 59年)^(註1)のソ連のアジア研究紹介。こうした現象は外国におけるアジア研究に対する関心の深化ということの1つの指標になると思う。

日本においても外国（中でもアメリカが多いが）における日本研究とか、アジア研究あるいは東南アジア研究という題の紹介論文が若干ある^(註2)。これらの論文は日本研究に関するものを別として、アジアの中の日本が他のアジア諸国を研究するうえに外国におけるアジア研究および研究体制に1日の長を認め、その研究状況を紹介し、今後のアジア研究に資するという意図においてやはり日本のアジア研究に対する関心の深まりを示すものとみて差しつかえなからうと思う。

本稿ではそういった意味において、アメリカの南アジア研究を対象としたい。それはアメリカがアジア研究の方法論としての地域研究の盛んな所であるからである。

さて板垣与一教授はアメリカのアジア研究を見る場合の方法として、2つのことを提示されている。すなわち文献展望的に問題の所在ないし接近方法を把握する方法と、いま1つは、学会、大学機関で取り上げられる問題に焦点を合わせ、問題傾向、プロジェクトの性格などを明らかにする方法である^(註3)。しかしながら、いずれの接近方法を踏襲するにしてもかなりの期間と相当豊富な学識経験が不可欠な前提条件となり、早急にこれを行な

うことは至難であるから、さしあたりその第1段階として今まであまり対象とならなかった雑誌論文のリスト・アップという点に主眼をおき、その範囲で出てきた1つの傾向を覚え書きとしてまとめることにした。そして最後に南アジア研究の中心である大学の簡単な紹介と、主要なアジア研究者の名簿を付加した。なお本稿で主体をなしている雑誌は、太平洋問題調査会 (American Institute of Pacific Affairs=IPR) の出している *Pacific Affairs* (1950~58年) と *Far Eastern Survey* (1950~58年) で、これをアジア研究学会季刊 (Association for Asian Studies Inc.) の *Journal of Asian Studies, Bibliography* (1950~59年) によって作成した雑誌論文リストによって補足した^(註4)。なお1959年に発表された論文は、1960年のBibliography がまだ出ていないので、手近にあるもののみを付加するに止めた。

I 南アジア研究の一傾向

ここでの対象は、アメリカにおける南アジア研究がいかなる変貌過程をたどりつつあるかということにある。

アメリカのアジア研究の発展史は当国の西北方への進出、それに伴う接触範囲の拡大と正比例して進展したということはしばしば言われることであるし、また歴史的必然性がある^(註5)。したがってアジア研究歴の初期、つまり19世紀後半から20世紀前半における対象は、当然のことながら中国、日本が主体をなしていた。しかしこうした研究体制は、第2次世界大戦を1つの契機として、質的に大きく変化するとともに、東南アジア、南アジアとの接触により新たな分野を開拓し、かくてアメリカのアジア研究もその幅を一段と拡張することになった。ここで対象とする南アジア研究も、そうした歴史過程の中で芽生えたものであるが、その研究体制あるいは方法論を見るとやはり1日の長を認めざるをえない。そこで以下南アジアに属する諸国を対象とする研究の発展系譜を概略してみたい。

(1) インド

南アジア研究といっても、実質的な意味ではインド研

究といえる。これは東南アジア研究の中心がインドネシアであるのとちょうど呼応している。いまここで *Pacific Affairs* (1950~58年) に掲載された南アジア関係の論文を分類してみると第1表のようになる。細かい数字はこ

第1表 *Pacific Affairs* (1950~58年) の
国別・国籍別論文数

国名	論文総数	比率(%)	アメリカ人による論文数	比率(%)
南アジア				
インド	38	64.4	17	65.4
パキスタン	12	20.3	4	15.4
セイロン	4	6.8	0	0
ネパール	3	5.1	3	11.4
チベット	2	3.4	2	7.8
計	59	100.0	26	100.0

(注) *Pacific Affairs* はアメリカ人とアメリカ人以外の寄稿者でなりたっている。論文総数とは両者を合計した総論文数である。

の場合大した意味をもたない。ただこの第1表は南アジアというカテゴリーの中で、インドの占める圧倒的地位を示すに十分であろう。この傾向はIVの文献目録の中の関係論文を分類すればさらに確実に裏づけられる(注6)。

このように位置づけされたインド研究は、かなり古い初期の時代までさかのぼることができる。ただ古いといってもせいぜい19世紀末から20世紀初頭であるが、この時代のいわゆるインド学はだいたいサンスクリット研究が母体をなしていた。したがって現在のインド学とは質的に異なっていたし、総合的インド研究という見地からすれば、ほとんど例外的といってもよいくらいである。こうした初期のインド研究に比べ、第2次世界大戦終了後のインド研究は概して対象が古いところから新しいところに移りその範囲も偏在から普遍という傾向をたどっている。インド人サーストリー(K. A. Nilakanta Sastri) はアメリカのインド研究の発展系譜について3つの傾向を指摘している(注7)。(1) 現代史への関心が深まったこと、(2) 近代の社会・宗教改革運動とその代表人物についての研究、(3) 計画経済への関心、がそれである。まず現代史への関心の深化に関して、かれはその背後にある研究態度として「1世紀半にわたるイギリス統治、より一般的にいえば、西欧の科学、技術というインパクトに対する古い文化のリアクション」という面でもとらえている。しかしこれは、古い歴史に対する対立概念としてはまさに1つの大きな特徴を形成しているが、この点は歴史学という独立分野としてよりもむしろその他の分野の背景としてより重要な役割を果たしていると考えられる方が

良いと思うし、この点に関してはのちに触れるつもりである。つぎに、社会・宗教改革とその代表人物の研究に関しては、これがいわゆるインドルネッサンスと呼ばれるもので、その中心人物には、ラージャー・ラーム・モハーン・ローイ、ダヤーナンド・サラスヴァティー、ヴィヴェカーナンド、ラーマクリシュナ・パラマハンサ、アウロビンド・ゴーシュなどがあるが、サーストリーはこれが特徴であるという論拠として、シカゴ大学でヴィヴェカーナンドの講座を毎年開いていること、ならびに同大学の歴史学教授 Stephen N. Hay がフルブライト奨学資金を得て、ラーム・モハーン・ローイの研究のためにインドに派遣された、という例をあげている。この点だけで1つの特徴といえるかどうかははなはだ疑問であるが、これも伝統社会への変革を試みた運動への注目という点で傾向としてあげたのであろう。私見としては、雑誌論文を分類整理することにより得られた結論から推して、かれが最後にあげている点、つまり計画経済への関心、特に経済開発の伝統社会に対する相互関連性の研究がかれのあげている第1の傾向をも含めてアメリカにおけるインド研究の中心の特徴であるように思われる。そこで以下雑誌論文から得た1つの傾向をまとめてみよう。IVの文献目録を参照されればだいたい推察できると思うが、さらに入手可能な論文を参照して得た傾向は大ざっぱに言って3つある。第1に、1953年ごろまでの問題の取り上げ方、接近方法、分析は、現状分析というよりむしろ事情紹介的色彩が濃厚である。第2に問題意識、方法論の転換期は1954~55年ごろと思われる。そして第3は、学問分野においては経済学、社会学の分野に変化が著しい。また1954~55年を境として従来優勢であった政治学分野の研究が経済学、社会学分野にその地位を譲る。

まず第1の点に関しては、ばく然としすぎてはいるが、IIの南アジア研究のプロジェクトを見てもわかるようにだいたいの研究体制が整ったのが1951~54年であるから、いわゆるここで特徴の背景をなしている地域研究の成果が具体化するのはいくともこの期間ないしそれ以前ではありえない。事実 *Far Eastern Survey* (1950~53年) の論文を見ると、雑誌そのものの性格が時論的である点もあるが、対象としている問題はほとんどその当時の現実問題であり、取り上げ方も事実そのものを伝えるといった実証的論文に始終している。もちろん例外はあるわけであるが、*Pacific Affairs* の場合においても多分にそうである。そしてこの雑誌の場合さらにこの期間

におけるアメリカ学者の論文と、アメリカ人以外の学者の論文の間に問題意識の差が認められる。

第2の点、つまり問題意識、方法論の転機に関しては、前に触れたように1954～55年を転期として大学のアジアに関するプロジェクトが軌道に乗り出したと見てよく、かつ対象課題の分散および細分化と分析要具の統合という過程を経て年代の下がるにつれて問題意識も鮮明になってくる。そこでこのような傾向を単純に量的に測定することに対する不安は依然として残るにしても、*Pacific Affairs* (1950～58年)におけるインド関係の論文を、年代別、研究者国籍別に分類してみるにより、時代的転機という点を別の面から見ると第2表のようになる。これによると論文数が1955年を契機としてアメリカ人による論文とそうでない論文とが入り替わっていることに気づく。これは強力な指標とはなりえないが、その他の

第2表 *Pacific Affairs* (1950～58年)のインドおよび南アジアの年代別論文数

年次	1950		1951		1952		1953		1954		1955		1956		1957		1958	
	A	F	A	F	A	F	A	F	A	F	A	F	A	F	A	F	A	F
インド	0	2	1	2	1	5	1	4	1	1	3	1	2	1	3	2	4	0
南アジア	0	2	2	2	1	8	1	6	1	2	4	1	4	2	4	4	4	1

(注) A=アメリカ人, F=アメリカ人以外を示す。

条件を加味するとだいたいこの時期をもってアメリカのインド研究が軌道に乗り、さらに主体性をもち始めた時としていいのではあるまいか。そこで前に触れた対象課題の分散、細分化と分析要具の統合について触れる必要があるが、そのためには地域研究 (area studies) を説明しなければならない。地域研究とは従来の定義に従えば、ある課題を多角的分野から分析しそれを総合して解明する研究である。もっと具体的にはアジアの問題を解明するには西欧で発達した単一要具による分析では不可能であるという前提に立ち、それを広義の「社会学的接近方法」、つまり「社会学的接近方法だけでなく、経済学的・政治学的・文化人類学的・社会心理学的アプローチの総合」(注8)が必要であるというのである(注9)。以上のような内容をもった学問が「広義の社会学」ということばで表現されてしかるべきか否かは技術の問題であるが、このように定義された地域研究の方法論は一見初期の社会学への逆流とも見られる。しかし現在高度に専門化した分野が比較的未分化の状態に総合されていたころの社会学と、専門化した独立分野の総合としての地域研究とは根本的に相違することはもちろんである。ただこ

のような初期社会学の形式をとっていることは、その対象が低開発諸国であることに依存するし、さらに補足すれば地域研究の方法論には文化人類学ないし社会人類学の方法論の影響があるのではないかと推測されることである。ただし文化人類学ないし社会人類学の方法論は原則として未開集団を対象とし、ある選択された小集団を徹底的に実態調査し、そこで組み立てられた仮説ないし理論を普遍化しかつ比較することにある。以上のように推論することが許されるならば、それをも含めた地域研究と、前の分散、細分化と統合ということは相互に説明できる。すなわちIVの文献目録にもある程度表われているが、年代が下がるとともに対象とする課題も多方面にわたり、かつ取り上げる範囲も狭くなる。そしてある選択された小集団ないし地域の現地調査を行ない、そこで組み立てた仮説ないし理論を一般化しようと試みる case study の論文が目につく。たとえばウツタル・プラデシ州の土地改革を問題とした W. C. Neale (1956年) の論文とか、バンガロールの工業に焦点をしぼり、公共企業管理形態と工業発展における地位を主題とした G. B. Baldwin (1957年)、ボンベイの州再編成をえがいた M. Windmiller (1956年)、その他多数の論文があり、単行本も含めるとさらに多くなる。このような傾向はアジア研究だけの特殊現象ではないにしても、地域研究の必然性とともに問題意識の鮮明になることを意味すると解してもいいのではあるまいか。またこれと同時に分析要具の統合も地域研究の結果として生じてくる。つまりある1つの経済現象を分析する場合、純粋経済理論的に分析すると同時に、その背後にありそれを規定しないし影響を与えている種々の非経済的条件を解明する必要がある。問題は後者にあるわけだが、その具体例としては M. B. Singer (1956年) の経済開発における文化価値を主題とするものや、経済開発における政治の役割を扱う W. Malenbaum (1958年) のもの、さらに代表的と思われる Myron Weiner (1959年) の論文がある。ウィーナーはその中で、社会的・政治的变化のダイナミクスを明らかにするにすぎずは political leadership であるとし、この問題を西ベンガルに限定し、40年にわたる political leadership の変遷と経済開発に対する関連性を特に農村出身と都市出身の議員の割合という点で分析し、今後の展望を1つの仮説として打ち出している。この論文は現地人の間でかなり批判されているようだが——特に統計数字にたよりすぎているという点で——問題提起、方法論としては注目して良いし、1つの傾向とみなしてもい

いのではないかと思う。

第3の点、すなわち政治学分野の優勢が1954～55年を転機として経済学、社会学のそれに代わることであり、後者において変化が著しいということに関しては第3表を見ていただきたい。この表はIVの文献目録の中の政治学・経済学関係の論文を年代別、課題別に分類したものである。

第3表 インドの政治・経済関係論文の年代別課題別分類(1950～58年)

分類	年次										計
	1950	1951	1952	1953	1954	1955	1956	1957	1958		
政治関係	1	1	—	—	2	1	1	—	1	7	
政治関係	1	—	1	—	—	—	1	1	—	4	
国際関係	—	1	—	—	—	—	1	—	1	3	
外交主権	—	—	3	—	—	1	2	1	—	7	
国際主義	1	1	1	3	—	2	—	1	—	9	
その他	—	—	—	—	1	1	3	—	1	6	
計	3	3	5	3	3	5	8	3	3	36	
経済関係	—	—	1	1	1	3	6	3	2	17	
経済関係	1	—	—	—	1	1	2	—	—	5	
農業(土地・食糧)	—	1	—	—	—	2	2	—	2	7	
村落開	—	—	—	—	1	1	1	2	3	8	
労働	—	—	—	—	—	1	—	—	3	5	
経済+政治・社会	—	1	—	—	—	1	1	—	—	5	
外国企業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	
計	1	2	1	1	3	9	12	5	10	44	

この表で1954～55年を転機として経済学の分野が政治学分野に優先することが一応量的に示されている。この傾向は対象国が低開発地域である以上、政治的独立と経済自立ないし経済体制確立との間にかかなりのタイム・ラグがあることを考えれば当然のことかもしれないが、同様のことは他の諸国にも適応されることである。質的変化に関してはたとえば第3表の政治学分野において、「政党」の欄の7論文で4論文が共産党を主題としたものであり、「国際関係」の論文はすべて対アメリカ外交政策に関するもの、「国際紛争」はインド・パキスタン紛争、特にカシミール問題がほとんどである。またその内容もさほどの変化はみうけられないのに反し、経済学分野の変化は「経済+政治・社会」および「村落」の欄にみられる。このことは第2の傾向としてあげた点と重複するが、広義の経済開発という課題が前提となり、それを阻害あるいは促進するさまざまな要因が注目されてくる。特に伝統的価値観が経済開発というインパクトに対しいかなるリアクションを示し、かついかなる変貌を見せるかという課題が中心となり、これに関連をもつリーダーシップの問題、ビジネス・グループの作用、あるいは階

級、特に下層階級の反応と変化などが興味ある対象となっている。

(2) パキスタン

アメリカにおけるパキスタン研究は、南インドというカテゴリーの中では、第1表に見るとおり相当の開きはあるがインドのつぎにくらいる。研究課題にしてももっぱら政治学分野であり、*Pacific Affairs* のパキスタン関係の論文の中でもアメリカ人とアメリカ人以外の論文とでは総じて問題意識の差および対象範囲の狭さが見られる。目下そのおもな対象は政治的安定という課題が前提となり、民主主義、議会政治(いずれも西欧で発達したものへの適応という観点から)に関連したもの、および不安定原因としての東西両地域間の相違の問題などである。たとえば1950～59年の当国関係論文12のうち政治関係が10で、その内訳は東パキスタンを主題としたものの4、対インド紛争に関するもの2、対アメリカ外交関係1、その他3となっている。おもな学者としては Stanley Maron と Keith Callard 2人だけであり、前者の「東パキスタンの問題」(1955

年)および後者の「パキスタンの政治的安定」(1956年)は政治的不安定の背後にある宗教的・人種的偏見にまで触れている点はおもしろい。また雑誌論文に関するかぎりアメリカ人の書いた経済関係の論文はなく(またあってもわずかであると思う)、*Pacific Affairs* において経済関係の執筆者は限られたパキスタン人であり今後の発展が期待される。また蛇足ではあるが、パキスタン研究はイスラム研究の中心たるマクギル大学(McGill Univ.)で芽生えつつある。

(3) ネパール、チベット、セイロン

ネパール、チベットの南アジア研究に占める地位は低い。ネパールに関する研究は、大学においてはカリフォルニア大学のプレス・ダイジェスト・プログラムの中でインドの副産物という形で行なわれているだけである。1950～58年の関係論文もわずか6編で、もっぱら政治分野であり、Werner Leviの独壇上である。チベットに関する論文もネパール同様6編であるが、いずれも政治学分野であり、中共支配下のチベットの全般的叙述という域を出ず、インド研究に見られたような傾向はまだ見いだせない。最後にセイロンに関するものは、調べた範囲

ではアメリカ人による雑誌論文を見つけることはできず、*Pacific Affairs* と *Far Eastern Survey* のセイロン関係論文もすべてセイロン人によるものであったから、確定的なことはいえない。ただアメリカのセイロン研究はこれからという段階ではなかろうかと推測されるのみである。

以上国別に大ざっぱな傾向を見てきたが、分析の対象が雑誌論文であるという制約ならびに日本で入手可能な論文に限界があったために当初の意図が十分達成されなかった。しかし結局のところ、南アジア研究はインドによって代表されているといえる。したがってここにおける傾向をアジア研究全般に通ずる傾向とするには、単行本、モノグラフその他の諸条件を考慮しなければならないが、加えられるべき諸条件と当初の2つのアプローチ、特に後者は今後の課題として残すとしてここではもっぱら限られた範囲中での傾向をまとめてみた。

(注1) O. E. Clubb (1958, 9年) とあるのはIVの文献目録の1958, 9年のところに論文が収録されることを意味する。

(注2) 板垣与一稿、「アメリカのアジア研究」、『外交季刊』、第5巻、第1号。植田捷雄稿「アメリカにおけるアジア研究」、『アメリカーナ』、1956年2月号。アジア政経学会、「世界におけるアジア研究」、『アジア研究』、第4巻、第4号。国会図書館、「アメリカにおける日本研究」。

(注3) 板垣与一稿、『前掲書』、50ページ。

(注4) アメリカでアジア問題のみ扱っている雑誌は *Pacific Affairs* と *Far Eastern Survey* および *Journal of Asian Studies* である。*Pacific Affairs* は広く海外に論文を求め、したがって国際的であり投稿者もほとんど大学関係者である。*Far Eastern Survey* は主としてアメリカ人の論文によって占められ、投稿者も大学教授から会社員、ジャーナリストと多彩であり、比較的時論的色彩が強い。*Journal of Asian Studies* は主として中国・日本関係で、歴史・文学関係が多いので文献目録に利用するにとめた。その他 *Economic Development and Cultural Change* とか *Foreign Affairs* もあるが、ここでの主題からして適当でなかったのが割愛した。

(注5) これに関しては K. S. Latourette, "Far Eastern Studies in the United States: Retrospect and Prospect," *Far Eastern Quarterly*, Vol. xv, No. 1. Nov. 1955. が参考になる。

(注6) 総論文122のうちインド98, パキスタン12, ネパール, チベット6となり、インドの全体に対して占める割合は80%である。

(注7) K. A. Nilakanta Sastri, "Indian Studies in America," *The Illustrated Weekly of India*, April 19, 1960.

(注8) 板垣与一稿、『前掲書』、52ページ。

(注9) 地域研究には広い範囲の基礎知識をもち同時に特定の専門分野をもつ幾人かが共同してある課題を多角面から接近し解明するものと、いま1つは1人の人間が多く分析要具を統合して解明する場合が考えられるが、本稿の場合雑誌論文が主体なので後者に重点を置かざるをえなかった。

II 南アジア研究の中心機関

南アジア研究といわず、アジア研究の中心機関は大学である。南アジア研究に関しては主として4大学があげられる。すなわちシカゴ大学、カリフォルニア大学（バークレー）、ペンシルバニア大学およびマサチューセッツ工科大学（通称 MIT と呼ばれる）である。したがって以下この大学に関してアウトラインを記すことにする。もっとも前に述べたように南アジアといってもインドが中心であるので、インド研究の紹介みたいになってしまった。なおここで参考にした文献は前掲板垣与一稿「アメリカのアジア研究」と *American Institutions and Organizations interested in Asia* である。

(1) シカゴ大学 (University of Chicago)

シカゴ大学における南アジア関係の学部は (1) Committee on South Asia Studies, (2) Dept. of Oriental Languages and Literature, (3) Research Center in Economic Development & Cultural Change, (4) Dept. of Anthropology の中の Research Program on Intercultural Relations と4つある。(1)は G. Bobrinsky と M. Singer が指揮していて、対象地域は東南アジア、南アジアの全域である。1954年の設立で学問分野は人類学、地理学、歴史学、言語学、哲学、政治学、宗教学、社会学におよび、語学研修は、中国語、ペルシャ語、サンスクリット語である。この委員会の強調する点は、社会科学およびヒューマニティーにおけるいくつかの原理を通じて関係地域の知識 (area knowledge) を啓発することにある。(2)に関しては、言語とヒューマニティーに主眼点が置かれており、1951年設立された。対象地域は中国とインド、学問分野は考古学、歴史学、文学、哲学、言語学で、部長は G. Creel Herrlee である。(3)はシカゴ大学のみでなくアメリカの学界で最も注目されるものであり、経済発展と文化変動という分野における種々の問題の実験的な検討の場として *Economic Development & Cultural Change* という季刊の雑誌を発行している。「この雑誌に収録された論文が、いずれも東南アジアの調査研究上の方法論的反省を促すような問題提起的好篇であ

ったために、若い研究者たちにとって学界で認められる登壇たる観を呈し」(註10)ている。しかしこの雑誌は単にアジアのみを扱っているわけではなく、特にアジア諸国を含めた全世界の低開発地域ということになっている。1952年の設立で編集責任者は Bert F. Hoselitz であったが、最近 M. Manning Nash に交替したそうである(註11)。(4)はさして重要と思われないが、1952年に設立され、対象地域は中国、インド、インドネシア、パキスタン、アフガニスタンであって、主として中国、インドおよびイスラム世界に注意を集中している。この役割は、図書活動、実態調査を支援し、関係地域専門家によるセミナーを開催し、報告書を出版するというのであり、責任者は M. Singer である。シカゴ大学に属する研究者についてはⅢで一括して触れるが、性格として社会学分野に先んじているようである。

(2) カリフォルニア大学 (University of California, Berkeley)

この大学のアジア研究は Institute of International Studies で行なわれ、範疇は中国、朝鮮からインドにわたっているが、この研究所の中で南アジアを担当しているのは Center for South Asia Studies である。この中にはいくつかのプログラムが含まれているが、人類学的見地に立って、インド村落の文化的・社会的変化、特に南インドの伝統的文化および Kota の構造と変遷の研究を行なっている Indian village studies project (D. Mandelbaum), ならびに25種の日刊・週刊新聞、政府刊行物、その他の資料を体系的に整理し、現代インド、ネパール事情の多くの局面を浮き彫りにしたモノグラフ・シリーズを発行している Indian press digests project (M. W. Fisher, J. V. Bondurant, 設立は 1951年), およびインドの政党、リーダーシップ、主要な政治的事件の調査研究を行ない、現在インド共産党、社会党、国民会議派、二重社会の選挙制度、言語リジョナリズム、チャンドラ・ボースの政治的経歴などの研究を行なっている modern India project (Richard L. Park, 設立は 1954年) がある。なおこの modern India project で注目すべきは、アジア研究学会 (Association for Asian Studies Inc.) の南インド研究委員会との共催で1956年「インドにおける政治機構とその指導性について」というテーマのセミナーを開催したことであり、カリフォルニア大学が南アジア政治研究の中心であるといわれるゆえである。そして最後に South Asian language project があり、サンスクリット、ヒンディ、ウルドゥの講座を開

いている。

(3) ペンシルバニア大学 (University of Pennsylvania)

ここでは (1) Dept. of Oriental studies, (2) Dept. of South Asia regional studies, (3) Foreign policy research institute があり、1959年で完了したが Pakistan technical cooperation project があった。(1)に関しては、日本、中国、朝鮮、セイロン、インド、ネパール、アフガニスタンを対象とし、考古学、歴史学、言語学、文学、哲学、宗教学の講座をもっている。しかし主として前者に重点をおいているので、語学研修も多くの講座を設けている。すなわち中国、ドラヴィダ、ヒンディ、インド・アーリアン、日本、パーリー、ベルシャ、ブラクリット、サンスクリットである。(2)は1948年の設立で対象国はインド、ネパール、セイロン、パキスタン、アフガニスタンで、学問分野も、人類学、芸術、経済学、地理学、歴史学、言語学、文学、政治学、社会学の広範囲にわたり、語学講座もベンガーリー、ヒンディ、マラヤラム、パーリー、ベルシャ、サンスクリット、シンハリズ、タミール、テルグ、ウルドゥについて開いている。部長は Norman W. Brown で、この学部の特色はアジア、ヨーロッパ、アメリカの他の地域から芸術、企業、教育、ジャーナリズム、公共企業、その他の専門家を招へいし、連続の特別講座を開くことと、毎年夏にインド、パキスタンについて特にインテシブな語学研修に力点を置いた講座を開催することである。(3)は1955年設立されたかなり高水準の外交研究機関で、アジアに関する業績としてアジア・アメリカの緊張に関する研究、日本、インド、インドネシア共産党研究を支援したことなどである。この大学が言語学にすぐれているといわれるのは、(2)に述べたことによって明白であろう。

(4) マサチューセッツ工科大学 (Massachusetts Institute of Technology=MIT)

この大学のアジア関係の機関は1952年設立された Center for International Studies (Max F. Millikan) であり、全アジア地域を対象にしているが、特にインド、インドネシアに重点をおいている。このセンターは調査研究の対象分野として4つのプログラムをもち、その中でさらにいくつかの特殊調査研究のプロジェクトが組まれている。4つのプログラムとは、(1) international communication, (2) economic and political development, (3) U. S.—Communist bloc relations, (4) American Society in the world setting であり、その

中の特殊プロジェクトをあげれば、「インドの英語で教育された層の社会的性格」、「インド村落内外を結ぶ意志疎通手段」、「主要事件に対するインド、アメリカの新聞論調」、「インド社会における知識人の役割」、「インドおよびインドネシアの経済成長分析」などがある。

以上述べてきた4大学以外にも南アジアを研究している大学があるが、今回は主要なもののみを対象とした。なおここで注意すべきことは学問分野つまり講座数が多

いことであり、学生がある1国を研究する場合、たとえば経済学が専門であってもそれ以外のすべての課目についての基礎知識を修得しなければならないことである。それに語学講座も公用語だけでなく、主要方言まで開講していることも注目に値することと思う。

(注10) 板垣与一稿、『前掲書』、64ページ。

(注11) 『同上書』、64ページ。

III 南アジア、東南アジア関係のおもな研究者名簿

1 インド

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
George Baldwin	MIT, 経済学	工業発展(企業管理, 公共事業, 政府の役割)
Ernest Bender	ペンシルバニア大学, 言語学, 文学	ベルシャ語, ヒンディ文学
A. K. Biswas	MIT, 経済学	経済開発(経済成長と人口増加)
J. V. Bondurant	カリフォルニア大学	プレス・ダイジェスト編集者
W. N. Brown	ペンシルバニア大学, 言語学, 宗教学	宗教, 言語(サンスクリット)
B. F. Cohn	シカゴ大学, 社会学	インド下層階級の研究
J. A. Curran	IPR, リサーチ・アソシエイト	
Kingsley Davis	カリフォルニア大学	人口問題
V. M. Dean	外交協会, 編集者	インド, インドシナ, フィリピン of 政治
M. B. Emeneau	カリフォルニア大学, 言語学	言語問題, サンスクリット
Margaret W. Fisher	カリフォルニア大学	プレス・ダイジェスト編集者
Constance A. Freydidg	カリフォルニア大学	土地問題
H. J. Friedman	ミシガン大学, 政治学講師	ソーシャル・リーダーシップ, 連邦と工業発展
H. C. Gray	外交協会, リサーチ・アソシエイト	アメリカの対インド穀物援助
J. J. Gumperz	カリフォルニア大学, 言語学	ヒンディ語, 農村開発と言語問題
Stephen Hay	シカゴ大学, 歴史学	インド社会改革(ラーム・モハーン・ローイ)
Norvin Hein	エール大学, 宗教学	ヒンドゥ教, 比較宗教学
D. H. H. Ingalls	ハーバード大学, 文学	サンスクリット
Ralph James	MIT, インダストリアル・リレーション	労働問題(労働組合)
J. K. Kautsky	ロチェスター大学, 政治学	共産党
J. Korbel	デンバー大学, 政治学講師	カシミール問題
Hellen B. Lamb	MIT, リサーチ・アソシエイト	ビジネス・アントロポルヌール
Richard D. Lambert	ペンシルバニア大学, 社会学	労働問題, 下層階級
Werner Levi	ミネソタ大学, 政治学助教授	外交政策, ネパール, チベット
Wilfred Malenbaum	ペンシルバニア大学, 経済学	経済成長と開発計画(中共との比較)
David G. Mandelbaum	カリフォルニア大学, 人類学	村落, カースト
McKin Marriot	シカゴ大学, 文化人類学	インド村落研究
Max F. Millikan	MIT, 経済学	経済思想, ロストウとともに後進国援助政策
Frank J. Moore	カリフォルニア大学	土地問題, タイに関する一般
Walter C. Neal	テキサス大学	土地問題, 小麦(パンジャブ)の価格変動
M. E. Opler	コーネル大学, 人類学教授	インド村落研究
Oscar Ornati	コーネル大学, N.Y. スクール・オブ・インダストリアル・レーバー・リレーションズ助教授	労働問題(賃金, 組合)

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
N. D. Palmer Richard L. Park W. F. Rivers J. R. Roarch George Rosen B. N. Schoenfeld T. J. Shea M. B. Singer D. L. Spencer Irene Tinker Myron Weiner M. Windmiller	ペンシルバニア大学, 政治学 ミシガン大学, 政治学 スタンダード・バキューム会社, カルカッタ支店長 テキサス大学, 政治学教授 MIT, 経済学 テンプル大学, 政治学助教授 ペンシルバニア大学 シカゴ大学, 文化人類学 南イリノイ大学, 経済学教授 カリフォルニア大学, 政治学助教授 シカゴ大学, 政治学助教授 カリフォルニア大学, 政治学助教授	インド外交政策 政治一般 インドの外国企業 経済開発 工業発展 ケララ問題, ネパール政治 土地・農村問題 村落研究, 経済開発と社会要因との関連 経済開発(企業) 選挙の比較検討(インド, インドネシア, マラヤ) 政党(国民会議派) 共産党

2 パキスタン

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
W. Eberhard Keith Callard Stanley Maron J. B. Schetchman R. B. Wheeler R. Wright	カリフォルニア大学, 社会学準教授 マクギル大学, 政治学準教授 カリフォルニア大学, 人類学 カリフォルニア大学, 政治学, リサーチ・アシスタント ニューヨーク市立大学	専門は中共, 最近パキスタンの農村研究に従事 政治(政治安定) 政治(東パキスタン問題) 人口問題専門家 政治(総督) 学生問題, インドネシア

3 チベット

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
G. Ginsburgs M. Mathoo M. L. Niemi F. W. Riggs	カリフォルニア大学(ロス), 政治学講師 カリフォルニア大学(ロス), 大学院 デューク大学, 政治学 エール大学, 政治学	行政問題 行政問題 中共支配下のチベット チベット一般およびインドシナ問題

4 ネパール

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
Werner Levi B. N. Schoenfeld	ミネソタ大学, 政治学助教授 テンプル大学, 政治学教授	ネパール政治一般, チベット, インド政治外交問題 新憲法

5 インドネシア

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
John P. Armstrong H. J. Benda R. C. Bone J. O. M. Brock J. M. Brown	ジョンズ・ホプキンス大学, 政治学 エール大学 コーネル大学, 東南ア・プログラム勤務 ミネソタ大学, 地理学部メンバー 政治学	政治一般 イスラム研究, 共産主義 政治(政党, 選挙) 東インドネシア問題 政党, インドネシア, オランダ関係

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
Edward M. Bruner	エール大学	スマトラ, バタック族研究
Denzil R. Carr	カリフォルニア大学, 言語学, 大学	インドネシア語, 文化史
B. R. Compton		政治 (選挙), 村落研究
John M. Echols	コーネル大学, 言語学教授	インドネシア言語学, 東南アジア文学
Rupert Emerson	ハーバード大学, 政治学教授	マラヤ, インドネシアの英・蘭統治の研究, ナショナリズム
H. Feith	コーネル大学, 政治学	政治構造 (行政, 選挙, 外交)
L. S. Finkelstein	IPR, リサーチ・アソシエイト	教育, 連邦問題など, マラヤ政治
C. Geertz	カリフォルニア大学, 人類学助教授	経済に対する社会要因の連関
E. Grasberg	MIT, 経済学	投資問題
Everett Hawkins	MIT, 社会学	
Benjamin Higgins	テキサス大学, 経済学	経済開発
William C. Hollinger	MIT, 経済学	国民所得, 国際貿易, 国際収支
G. Mct. Kahin	コーネル大学, 政治学助教授	政治 (ナショナリズム)
Frank L. Kidner	カリフォルニア大学, 経済学	
Ruth T. McVey	政治学	共産党
Douglas S. Paaw	MIT, 経済学	経済開発における資金調達
G. J. Pauker	カリフォルニア大学, 政治学教授	経済開発
Karl Pelzer	エール大学, 地理学教授	農業問題 (スマトラ)
Richard Wright	ニューヨーク市立大学	労働問題

6 タ イ

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
R. J. Coughlin	エール大学, 大学院	タイの華僑, 仏教
Beth Dickerson	コーネル大学, 東南ア・プロのスタッフ	タイのビブリオグラフィ
William J. Gedney	コーネル大学	タイの農民 (翻訳)
J. K. King	バージニア大学, 外務事情部助教授	官僚組織と共産主義
D. E. Moore	カリフォルニア大学院, 政治	選挙
A. Pickerell	カリフォルニア大学, 新聞学準教授	選挙
Laurinston Sharp	コーネル大学, 文化人類学教授	村落, 農業問題
G. W. Skinner	コーネル大学, リサーチ・フェロー	華僑 (インドネシア, タイ)
David A. Wilson	コーネル大学, 政治学	選挙, 政党
Walter F. Vella	コーネル大学, 政治	
A. Yoder	外務省事務官 (タイ駐在)	外国投資

7 ビ ル マ

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
Robert Allen	経済学	貿易
John H. Badgley	ジョンズ・ホプキンス大学学生	政治
J. Marvin Brown	コーネル大学, 言語学教授	タイ, ビルマ語
John F. Cady	オハイオ大学, 歴史学部メンバー	東南アジアの政治と共産主義
E. E. Hagen		経済開発
P. H. Hauser	シカゴ大学, 経済学	開発, 人口問題, 統計
William C. Johnstone	ジョンズ・ホプキンス大学, 政治学	政治一般

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
Josef Silverstein F. N. Trager J. Welsh	コーネル大学, 政治学講師 ニューヨーク大学, 国際関係論教授 シラキウス大学, 経済学講師	政治(選挙) 政治, 外交 経済開発

8 マラヤ

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
Richard L. Butwell P. L. Kleinsorge Lennox A. Mills J. N. Parmer P. Spear	ジョンズ・ホプキンス大学, 政治学 オレゴン大学, 経済学教授 コーネル大学 ジョンズ・ホプキンス大学, 経済学 政治学	マラヤ華僑, 東南アジアの共産主義, ビルマ政治 マラヤ経済 一般 マラヤ経済, 労働組合 政治

9 ヴェトナム

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
J. C. Donnell J. T. Donsey M. S. Farley E. J. Hammer Robert B. Jones Jr. Roy Jumper T. Shabad D. Wurfel	カリフォルニア大学院 ミシガン大学, 政治学準教授 IPR, 編集者 エール大学, 国際研究所メンバー コーネル大学, 言語学助教授 ウェイク・フォレスト大学, 政治学助教授 ニューヨーク・タイムス勤務 コーネル大学	一般 政治, 外交関係, その他フィリピン, 日本 政治一般 ビルマ, タイ, ヴェトナム語 政治(行政, 政策, 官僚) 経済開発 農地改革, フィリピンの農地改革

10 その他

氏名	大学機関名	専門テーマおよび業績
Francis M. Bator G. B. Cressey Harold H. Fisher N. S. Ginsburg Frank H. Golay B. F. Hoselitz Edward P. Holland Manning Nash Lucian Pye E. A. Shils Virginia Thompson P. Talbot C. Wolf	MIT, 経済学 シラキウス大学, 地理学 シカゴ大学, 社会学 コーネル大学, 経済学準教授 シカゴ大学, 経済学 MIT, 経済学 シカゴ大学 MIT, 政治学 シカゴ大学 Richard Adloff とともに	後進国の経済開発 アジア一般 アメリカのアジア政策 東南アジアの都市 フィリピン貿易, 東南アジア通商政策, 経済ナショナリズム 経済成長と都市化, 農村開発 後進国の経済発展 東南アジア, 南アジアの村落開発(工業化) 海外の華僑, マラヤのゲリラ共産主義 東南アジアの知識層, 世論, および経済開発 マラヤ, タイ, ラオス, カンボジアの政治, 経済一般 南アジアの政治 東南アジアの経済開発, インドネシアおよびビルマの開発計画

IV 文 献 目 録

ここにあげてある論文は年代順とし、同年代の場合はアルファベット順に配列した。なお当該論文を収録している雑誌名は以下の略号を使用した。

- AAAPSS = *American Academy of Political and Social Science, Annals*
 AICCER = *A. I. C. C. Economic Review*
 AUFSBRL = *American Universities Field Staff, Report and Letters*
 EcW = *Economic Weekly, Bombay*
 EKI = *Economi dan Keuangan Indonesia*
 EW = *Eastern World*
 FEER = *Far Eastern Economic Review*
 FEQ = *Far Eastern Quarterly*
 FES = *Far Eastern Survey*
 IEJ = *Indian Economic Journal*
 IL = *Indian Linguistics*
 JAS = *Journal of Asian Studies*
 JAOS = *American Oriental Society, Journal*
 JBRS = *Bihar Research Society, Journal*
 JIA = *Journal of International Affairs*
 JOIB = *Oriental Institute, Baroda, Journal*
 JRASMB = *Royal Asiatic Society, Malaya Branch, Journal*
 PA = *Pacific Affairs*
 PEW = *Philosophy East & West*
 TC = *Tamil Culture*

1 南アジア編

(1) インド

(イ) 一般

- Furber, Holden. "The Unification of India, 1947~51" *PA*, 24, No. 4 (Dec. 1951), 352~371.
 Bondurant, J. V. "The Impact of Communist China on Visitors from India," *FEQ*, Eisher, M. W. と共著, 15, (Feb. 1956), 249~265.
 Palmer, N. D. "Indian Attitude toward Colonialism," *Orbis* 1 (Summer 1957), 211~236.
 (ロ) 政治学関係
 Bennett, M. "UN Makes Progress on Kashmir," *FES*, 19, No. 7 (Apr. 5, 1950), 65~67,
 Curran, J. A. "The RSS Militant Hinduism," *FES*, 19, No. 10 (May 17, 1950), 93~98.
 Rosinger, L. K. "Indian-American Relations-Political Relations." Trivedi, H. L. と共著, *FES*, 19, No. 2 (Jan. 25, 1950), 9~12.
 Levi W. "India Debates Foreign Policy," *FES*, 20, No. 5 (Mar. 7, 1951), 49~52.
 ———. "India's Political Party," *FES*, 20, No. 17 (Oct. 10, 1951), 169~172.
 Schechtman, J. B. "Evacuee Property in India and Pakistan," *PA*, 24, No. 4 (Dec. 1951), 406~413.
 Dean, V. M. "The U. S. and India," *FES*, 21, No. 5 (Apr. 2, 1952), 41~46.
 Park, R. L. "India's General Election," *FES*, 21, No. 1 (Jan. 9, 1952), 1~8.
 ———. "Indian Election Results," *FES*, 21, No. 7 (May 7, 1952), 61~70.
 ———. "India Argues with Kashmir," *FES*, 21, No. 11 (July 2, 1952), 113~116.

- . "Indian Democracy and General Election," *PA*, 25, No. 2 (June 1952), 130~139.
 Brecher, M. "Kashmir: a Case Study in United Nations Mediation," *PA*, 26, No. 3 (Sept. 1953), 195~207.
 Feer, M. C. "India's Himalayan Frontier," *FES*, 22, No. 11 (Oct. 1953), 137~141.
 Palmer, N. D. "The Changing Scene in Kashmir," *FES*, 22, No. 12 (Nov. 1953), 157~163.
 Pauker, G. J. "Panikkarism, the Highest Stage of Opportunism," *World Politics* 7, (Oct. 1954) 157~177.
 Weiner, M. "Prospects for India's Congress Party," *FES*, 23, No. 12 (Dec. 1954), 182~188.
 Windmiller, M. "Indian Communism Today," *FES*, 23, No. 4 (Apr. 1954), 49~56.
 ———. "Linguistic Regionalism in India," *PA*, 23, No. 3 (Mar. 1954), 40~50.
 Johnstone, W. C. "Strategic Frontiers of India and Pakistan," *Foreign Policy Bulletin*, 34, (Jan. 1955), 61~63.
 Kautsky, J. H. "Indian Communist Party Strategy since 1947," *PA*, 28, (June 1955), 145~160.
 Korbelt, J. "New Hope for Kashmir?" *Foreign Policy Bulletin*, 34, (Mar. 1955), 89~90.
 Palmer, N. D. "Indian and Western Political Thought: Coalescence or Clash?," *APSR*, 49, (Sept. 1955), 747~761.
 Windmiller, M. "The Andhora Election," *FES*, 24, No. 4 (Apr. 1955), 57~64.
 Palmer, N. D. "India's Outlook on Foreign Affairs," *Current History*, 30, (Feb. 1956), 65~72.
 Tinker, I. "The First General Election in India and Indonesia," Walker, M. と共著, *FES*, 25, No. 7 (July 1956), 97~110.
 ———. "India's One Party Democracy," *PA*, 29, No. 3 (Sept. 1956), 265~268.
 Weiner, M. "India's Political Problems: the Longer View," *Western Political Quarterly*, 9, (June 1956), 283~292.
 ———. "Struggle against Power: Notes on Indian Political Behavior," *World Politics*, 8, (Apr. 1956), 392~403.
 Windmiller, M. "Indian Communism and the New Soviet Line," *PA*, 29, (Dec. 1956), 347~366.
 ———. "The Politics of State Reorganization in India," *FES*, 25, (Sept. 1956), 129~143.
 Windmiller, M. "America's Relations with India: a Reappraisal," *FES*, 25, (Mar. 1956), 33~38.
 Korbelt, J. "The Kashmir Dispute Continues," *FES*, 26, No. 3 (Mar. 1957), 42~46.
 Park, R. L. "Bases for Political Accord between India and America," *Indian Year Book of International Affairs*, 6, (1957), 437~449.
 Roach, J. R. "India's 1957 Election," *FES*, 26, No. 5, (May 1957), 65~78.
 Levi, W. "The Evolution of India's Foreign Policy," *Year Book of World Affairs*, (1958), 115~132.
 Spear, P. "British Transfer of Power in India," *PA*, 31, No. 2 (June 1958), 173~180.
 Windmiller, M. "Constitutional Communism in India," *PA*, 31, No. 1 (Mar. 1958), 22~35.

- Dean, V. M. "Kashmir: a Tangled Stein," *Foreign Policy Bulletin*, 37, (Nov. 1959), 28, 31~32.
- Schoenfeld, B. N. "Kerala in Crisis," *PA*, 32, No. 3 (Sept. 1959), 235~248.
- Weiner, M. "Changing Patterns of Political Leadership in West Bengal," *PA*, 32, No.3 (Sept. 1959), 277~287.
- (v) 社会学・経済学関係
- Curran, J. A. "Dissension among Indian Communities," *FES*, 19, No. 13 (June 12, 1950), 132~136.
- Morse, R. "Land Tenure and India Society," *FES*, 19, No. 22 (Dec. 20, 1950), 233~239.
- Converse, E. "Pilot Development Projects in India," *FES*, 20, No. 3 (Feb. 7, 1951), 21~27.
- Gary, H. C. "The Question of Grain for India," *FES*, 20, No. 6 (Mar. 21, 1951), 57~60.
- Rivers, W. F. "Foreign Business in India Today," *FES*, 20, No. 19 (Nov. 7, 1951), 189~193.
- Singer, H. W. "India's Five Year Plan: a Modest Proposal," *FES*, 21, No. 10 (June 18, 1952), 97~101.
- Meagher, R. F. "India's Five Year Plan: the Final Draft," *FES*, 22, No. 4 (Mar. 25, 1953), 42~43.
- Rosen, G. "An Examination of Potential Long-Run Industrial Development of India and China," *Economic Development and Cultural Change*, 2, (June 1954), 357~370.
- Ornati, O. "Indian Trade Unions since Independence," *FES*, 23, No. 8 (Aug. 1954), 113~122.
- Shea, T. "Agrarian Unrest and Reform in South India," *FES*, 23, No. 6, (June 1954), 81~88.
- Windmiller, M. "Gandhian Socialism in India," *FES*, 23, No. 3 (Mar. 1954), 40~45.
- Biswas, A. K. "Population Growth and Economic Development in India," Mueller, M. G. と共著, *AIC-CER*, 7, (Nov. 15, 1955), 17~20.
- Damel, Y. B. "The Problem of Cultural Communication of Modern Ideas in Indian Village," *Agra Univ. Journal of Research: Letters*, 3, (1955), 109~114.
- Lamb, H. "The Indian Business Communities and the Evolution of an Industrialist Class," *PA*, 28, (June 1955), 101~116.
- Malenbaum, W. U. S. "India's Domestic Product 1951/52~1953/54," *IEJ*, 2, (Jan. 1955), 247~253.
- Moor, F. J. "Land Reform and Social Justice in India," *FES*, 24, No. 8 (Aug. 1955), 124~128.
- Ornati, O. "Wages in India," *Economic Development and Cultural Change*, 3, (Apr. 1955), 211~259.
- Shea, T. "Economic Study of a Malabar Village," *EcW*, 7, (Aug. 20, 27, 1955), 997~1003, 1030~1033.
- Spencer, P. L. "Mixed Enterprise as a Tool of Economic Development: Indian Contribution," *American Journal of Economics and Sociology*, 14, (Jan. 1955), 139~158.
- Rivers, W. F. "The Position of Foreign Business in India Today," *PA*, 28, No. 1 (Mar. 1955), 26~40.
- Singer, M. B. "The Cultural Pattern of Indian Civilization: a Preliminary Report of a Methodological Fieldstudy," *FEQ*, 15, (Nov. 1955), 23~36.
- Dean, E. R. "Implementing India's Second Five-Year Plan," *FES*, 25, (Dec. 1956), 184~191.
- Malenbaum, W. N. S. "India and China: Development Contrast," *Journal of Political Economy*, 64, (Feb. 1956), 1~24.
- . "Unemployment in Urban Areas," *EcW*, 8, (Sept. 8, 1956), 1073~1076.
- Millikan, M. "Economic Thought and its Application and Methodology in India," *American Economic Review*, 46, (May 1956), 399~407.
- Opler, M. E. "The Extensions of an Indian Village," *JAS*, 26, (Nov. 1956).
- Neale, W. C. "Land Reform in Uttar Pradesh," *EcW*, 8, (July 28, 1956), 888~92.
- Roarch, J. R. "Reflections on India's Second Five Year Plan," *FES*, 25, (Oct. 1956), 154~157.
- Rosen, G. "Capital Output Ratios in Indian Industry," *IEJ*, 4, (Oct. 1956), 107~121.
- . "Subcontracting in Engineering Industries," *EcW*, 8, (Nov. 24, 1956), 1369~1374.
- Shea, T. "Implementing Land Reform in India," *FES*, 25, (Jan. 1956), 1~8.
- Singer, M. B. "Cultural Values in India's Economic Development," *AAAPSS*, 305, (May 1956), 81~91.
- . "The Indian Village-Introduction," *JAS*, 26, (Nov. 1956), 3~30.
- Baldwin, G. B. "Public Enterprise in Indian Industry," *PA*, 30, No. 1 (Mar. 1957), 3~21.
- Malenbaum, W. U. S. "Urban Unemployment in India," *PA*, 30, No. 2 (June 1957), 138~150.
- Malenbaum, W. U. S. "The Economic Crisis in India," *EcW*, 9, Special Number, (July 1957), 839~843.
- Ornati, O. "Problems of Indian Trade Unionism," *AAAPSS*, 310, (Mar. 1957), 151~161.
- Rosen, G. "Long-term Problems of Industrialization in India," *EcW*, 9, (Aug. 1957), 1019~1024.
- Cohn, B. F. "Changing Traditions of a Low Caste," *Journal of American Folklore*, 71, (July-Sept. 1958), 413~421.
- Hoselitz, B. F. "Economic Growth and Rural Industrialization," *EcW*, 10, (Feb. 22, 1958), 291~301.
- James, R. "Politics and Trade Union in India," *FES*, 27, No. 3 (Mar. 1958), 41~45.
- . "Trade Union Democracy: India Textiles," *Western Political Quarterly*, 11, (Sept. 1958), 563~573.
- Lamb, H. "The Indian Merchant," *Journal of American Folklore*, 71, (July-Sept. 1958), 231~240.
- Lambert, R. D. "Untouchability as a Social Problem: Theory and Research," *Sociological Bulletin*, 7, (Mar. 1958), 55~61.
- . "Factory Workers and the Non-Factory Population in Poona," *JAS*, 18, (Nov. 1958), 21~42.
- Lockwood, W. W. "Tax, Enterprise, and Foreign Capital in India," Review Article, *PA*, 31, No. 4 (Dec. 1958), 390~397.
- Malenbaum, W. U. S. "Some Political Aspects of Economic Development in India," *World Politics*, 10, (Apr. 1958), 378~86.
- Neale, W. C. "The Limitations of Indian Village Survey Data," *JAS*, 17, (May 1958), 383~402.
- Neal, W. C. "Carrot and Stick in India's Community Development: Review Article," *FES*, 27, No. 12

- (Dec. 1958), 189~191.
- Singer, M. B. "India's Cultural Values and Economic Development," *Economic Development and Cultural Change*, 7, (Oct. 1958), 1~12.
- Spencer, D. L. "New Resources of Industrial Finance in India," *PA*, 31, (Sept. 1958), 261~274.
- Friedman, H. J. "Indian Federalism and Industrial Development," *FES*, 27, No. 3 (Mar. 1958), 33~34.
- (2) その他
- Damel, Y. B. "A Note on Harikatha," *Bulletin of the Deccan College Research Ins.*, 17, (1955), 15~19.
- Emeneau, M. B. "India and Linguistics," *JAOS*, 75, (July-Sept. 1955), 145~153.
- . Signed Verses by Sanskrit Poets," *IL*, 16, (1955), 41~52.
- Gumperz, J. J. "The Phonology of a North Indian Village Dialect: the Use of Phonetic Data in Dialectology," *IL*, 16, (1955), 283~295.
- Ingalls, D. H. H. "A Reply to Bhattacharya," *PEW*, 5, (July 1955), 163~166.
- Trivedi, H. V. "The Indragarh Stone Inscription of the Time of the Rashtrakuta Kingnannappa," *JBR*, 41, (Sept. 1955), 249~261.
- . "Cultural Affinity of Gujarat & Malwa," *JOIB*, 5, (Sept 1955), 99~102.
- Emeneau, M. B. "India as a Linguistic Area," *Language*, 32, (Jan.-Mar. 1956), 3~16.
- . "Linguistic Prehistory of India," *TC*, 5, (Jan. 1956), 30~50.
- Brown, W. N. "The Sanctity of the Cow in Hinduism," *Journal of Madras Univ.*, 28A, (Jan. 1957), 29~49.
- . "The Vasanta Visala Manuscripts and Their Inter-Relations," *JOAS*, 77, (Oct.-Dec. 1957), 257~265.
- Gumperz, J. J. "Language Problems in the Rural Development of North India," *JAS*, 16, (Feb. 1957), 251~259.
- Ingalls, D. H. H. "Bherma and Noksa," *PEW*, 7, (April, July 1957), 41~48.
- Emeneau, M. B. "Oral Poets of South India: the Todas," *Journal of American Folklore*, 71, (July-Sept. 1958), 312~324.
- Gumperz, J. J. "Phonological Differences in Three Hindi Dialects," *Language*, 34, (Apr.-June 1958), 212~224.
- . "Dialect Differences and Social Stratification in North Indian Village," *American Anthropologist*, 60, (Aug. 1958), 668~682.
- Ingalls, D. H. H. "The Brahman Tradition," *Journal of American Folklore*, 71, (July-Sept. 1959), 209~215.
- (2) パキスタン
- (イ) 一般
- Wright, R. C. "Students in West Pakistan," *FES*, 19, No. 4 (Feb. 22, 1950), 38~41.
- (ロ) 政治学関係
- Schechtman, J. B. "Evacuee Property in India and Pakistan," *PA*, 24, No. 4 (Dec. 1951), 406~413, Note and Comment.
- Park, R. L. "East Bengal: Pakistan's Troubled Province," *FES*, 23, No. 5 (May 1954), 70~74.
- Park, R. L. & Wheeler, R. S. "East Bengal under Government Rule," *FES*, 23, No. 9 (Sept. 1954), 129~134.
- Johnstone, W. C. "Strategic Frontiers of India and Pakistan," *Foreign Policy Bulletin*, 34, (Jan. 1955), 61~63.
- Maron, S. "The Problem of East Pakistan," *PA*, 28, (June 1955), 132~144.
- . "A New Phase in Pakistan Politics," *FES*, 24, (Nov. 1955), 161~165.
- Wheeler, R. S. "Governor General's Rule in Pakistan," *FES*, 24, No. 1 (Jan. 1955), 1~8.
- Callard, K. "The Political Stability of Pakistan," *PA*, 29, No. 1 (Mar. 1956), 5~20.
- Maron, S. "East Pakistan's Demand for Autonomy," *Foreign Policy Bulletin*, 36, (July 1957), 157~159.
- Palmer, N. D. "The United States and Pakistan," *Current History*, 34, (Mar. 1958), 141~146.
- (3) ネパール
- (イ) 一般
- Levi, W. "A Note and Books from Nepal. Review Article," *PA*, 29, No. 2 (June 1956), 187~.
- (ロ) 政治学関係
- Levi, W. "Government and Politics in Nepal," *FES*, 21, No. 18 (Dec. 17, 1952), 185~190.
- . "Political Rivalries in Nepal," *FES*, 23, No. 7 (July 1954), 102~107.
- . "Politics in Nepal," *FES*, 25, No. 3 (Mar. 1956), 39~46.
- . "Nepal in World Politics," *PA*, 30, No. 3 (Sept. 1957), 236~248.
- Schoenfeld, B. N. "Nepal's New Constitution," *PA*, 32, No. 4 (Dec. 1959), 392~400.
- (4) チベット
- (イ) 一般
- Riggs, F. W. "Tibet in Extremism," *FES*, 19, No. 21 (Dec. 6, 1950), 224~230.
- Niemi, M. L. "Recent Trends in Chinese Communist Control of Tibet," *FES*, 27, No. 7 (July 1958), 104~107.
- (ロ) 政治学関係
- Feer, M. C. "Tibet in Sino-Indian Relations," *Indian Quarterly*, 9, (Oct./Dec. 1953), 367~381.
- Levi, W. "Tibet under Chinese Communist Rule," *FES*, 23, No. 1 (Jan. 1954), 1~9.
- Ginsburgs, G. & Mathos, M. "Tibet's Administration during the Interregnum 1951~54/1954~59," *PA*, 32, No. 2 (June 1959), 162~177. *PA*, 32, No. 3 (Sept. 1959), 249~267.
- 2 東南アジア編
- (1) インドネシア
- (イ) 一般
- Benda, H. J. "Indonesia," *Australian Outlook*, 4, (Mar.-June 1950) 86~97, 41~50.
- Kahin, G. McT. "Indonesia's Strengths and Weaknesses," *FES*, 20, (Sept. 26, 1951), 157~160.
- Finkelstein, L. S. "ILO Meeting in Indonesia," *FES*, 20, (Jan. 24, 1951), 18~19.
- . "The Indonesian Federal Problem," *PA*, 24, (Sept. 1951), 284~294.

- Brock, J. O. M. "East Indonesia; Problems and Prospects," *FES*, (Apr. 4, 1951), 65~67.
- Bone, R. C. Jr. "New Hope in Indonesia," *Foreign Policy Report*, 35, (Oct. 1, 1955), 13~15.
- Compton, B. R. "Indonesian Comment on Conditions in Indonesia," *AUFSBRC*, 29, (1955).
- Higgins, B. H. "The Indonesian Project of the M. I. T.," *EKI*, 18, (Mar. 1955), 152~161.
- Wright, R. "Indonesian Notebook," *Encounter*, 5, No. 23 (1955), 24~31.
- Benda, H. J. "The Beginnings of the Japanese Occupation of Java" *FEQ* 15, (Aug. 1956), 541~560.
- Bone, R. C. Jr. "Indonesia Goes Forward," *EW*, 10, (May 1956), 13~15.
- . "Indonesia: Retrospect and Prospect," *JIA*, 10, No. 1 (1956), 19~27.
- Pauker, G. J. "Where is Indonesia Going," Lawrence, D. と共著, *Foreign Policy Bulletin*, 35, (1956), 148~150.
- Trager, F. N. "Roots of Indonesian Conflict," *Foreign Policy Bulletin*, 36, (Feb. 1, 1957), 77~79.
- Pauker, G. J. "Indonesia Images of Their National Self," *Public Opinion Quarterly*, 22, (Fall, 1958), 305~324.
- Skinner, G. W. "Chinese of Java," *Colloquium on Overseas Chinese N. Y.*, (Aug. 1958), 1~10.
- (㊦) 政治学関係
- Kahin, G. McT. "The New Indonesian Government," *FES*, 19, (Nov. 22, 1950), 209~213.
- . "Some Aspects of Indonesian Politics and Nationalism," *IPR*, 11th Lucknow Conference Document, (1950).
- Brown, J. "Political Forces in Indonesia," *Eastern World*, 7, (Nov. 1953), 19~20.
- Bone, R. C. Jr. "The Future of Indonesian Political Parties," *FES*, 23, (Feb. 1954), 17~23.
- Brown, J. "Indonesian-Dutch Relations since 1950," *EW*, 8, (Sept. 1954), 21~23.
- Compton, B. R. "The Indonesian Election Law," *FES*, 23, (Apr., May 1954), 62~64, 74~77.
- Dean, V. M. "Shock-Treatment Diplomacy in Indonesia," *Foreign Policy Bulletin*, 33, (May 1, 1954), 4.
- Feith, H. "Toward Elections in Indonesia," *PA*, 27, (Sept. 1954), 236~254.
- . "Some Problems of Government Administration in Indonesia," *Australia's Neighbours*, No. 46 (Oct. 1954), 1~3.
- Bone, R. C. Jr. "Organization of the Indonesian Elections," *American Political Science Review*, 49, (Dec. 1955), 1067~1084.
- Benda, H. J. "The Communist Rebellions of 1926~27 in Indonesia," *PHR*, 24, (May 1955), 139~152.
- Tinker, I. "The First General Election in India and Indonesia," *FES*, (July 1956), 97~110.
- Bone, R. C. Jr. "Will Indonesia Disintegrate?" *Foreign Policy Bulletin*, 36, (May 1, 1957), 125~127.
- Feith, H. "The Political Crisis in Indonesia," *Australia's Neighbours*, No. 74 (May 1957), 1~4.
- . "The Foreign Policy of Indonesia," *Pakistan Horizon*, 10, (1957), 46~50.
- Higgins, B. "Hata and Co-operatives: the Middle Way for Indonesia?" *AAAPSS*, 318, (July, 1958), 49~57.
- Pauker, G. J. "The Role of Political Organization in Indonesia," *FES*, 27, No. 9 (Sept. 1958), 129~142.
- (㊦) 社会学, 経済学関係
- Wolf, C. Jr. "Economic Problems and Policies of Indonesia," *United Asia*, 2, (Apr. 1950), 394~397.
- Finkelstein, L. S. "Education in Indonesia," *FES*, 20, (Aug. 1951), 149~153.
- Wolf, C. Jr. "Political Effects of Economic Development," *FES*, 20, (May 2, 1951), 81~87.
- Wright, R. "The Freedom of Labour under Raffle's Administration in Java. 1811~1816," *JRASMB*, 26, (1953), 104~112.
- Paaw, D. S. "The Tax Burden and Economic Development in Indonesia," *EKI*, 7, (Sept. 1954), 564~588.
- . "The Role of Local Finance in Indonesian Economic Development," *EKI*, 8, (Jan. 1955), 2~24.
- Compton, B. R. "Village Notebook 1: Comments on Some of the Mores and Attitudes of Indonesian Villagers," *AUFSBRC*, 32, (1955).
- . "Village Notebook 2: What to Believe in?" *AUFSBRC*, 36, (1955).
- . "Village Notebook 3: The Relamatan," *AUFSBRC*, 38, (1955).
- Paaw, D. S. "The Case for Decentralized Financing of Economic Development in Indonesia," *FEQ*, 15, (Nov. 1955), 77~95.
- . "Financing Economic Development in Indonesia: Public and Private Mobilization of Voluntary Savings," *EKI*, 8, (Apr. 1955), 199~215.
- Higgins, B. H. "Economic Aspects of an Asian-African Conference and its Aftermath," Pashes, G. と共著, *EKI*, 8, (May-June 1955), 242~259.
- Geertz, C. "Religions, Beliefs and Economic Behavior in a Central Javanese Town: Some Preliminary Consideration," *Economic Development and Cultural Change*, 4, (Jan. 1956), 134~158.
- Higgins, B. H. "Indonesia's Development Plan and Problems," *PA*, 29, (June 1956), 107~125.
- . "Indonesia's Five Year Plan," *FES*, 25, (Aug. 1956), 122~123.
- Hollinger, W. C. "The Trade and Payments Agreements Program of Indonesia, 1950~55," *Economic Development and Cultural Change*, 4, (Jan. 1956), 186~199.
- . "The National Income of Indonesia, 1951~52: a Critical Commentary on the Neumark Estimates," Tan, A. D. と共著, *EKI*, 9, (1956), 785~798.
- Paaw, D. S. "Financing Economic Development in Indonesia," *Economic Development and Cultural Change*, 4, (Jan. 1956), 171~185.
- Geertz, C. "Ritual and Social Change: a Javanese Example," *American Anthropologist*, 59, (Feb. 1957), 32~54.
- Higgins, B. "Indonesia's Development Plans and Problems," *FEER*, 22, (Jan. 17, 1957), 79~87.
- Hollinger, W. C. "The National Income of Indonesia 1951~52: a Critical Commentary on the Neumark

- Estimates," *EKI*, 10, (1975), 2~33.
- Pelzer, K. J. "The Agrarian Conflict in East Sumatra," *PA*, 30, No. 2 (June 1957), 151~159.
- (二) その他
- Benda, H. J. "Indonesia Islam under the Japanese Occupation, 1942~45," *PA*, 28, No. 4 (Dec. 1955), 350~362.
- (2) タイ
- (イ) 一般
- Coughlin, R. J. "The Pattern of the Chinese in Thailand," *Journal of the South Seas Society*, 8, (June 1952), 1~3.
- "What next in Thailand?," *Foreign Policy Bulletin*, 33, (Sept. 1954), 1~3.
- (ロ) 政治学関係
- King, J. K. "Rice Politics," *Foreign Affairs*, 31, (Apr. 1953), 453~460.
- "Thailand's Bureaucracy and the Threat of Communist Subversion," *FES*, 23, (Nov. 1954), 169~173.
- Pickerell, A. "Election in Thailand," Moore, D. E. と共著, *FES*, 26, (June, July 1957), 92~96, 103~111.
- Wilson, D. A. "Elections and Parties in Thailand," *FES*, 27, (Aug. 1958), 113~119.
- (イ) 社会学, 経済学関係
- Sharp, L. M. "Peasants and Politics in Thailand," *FES*, 19, (Sept. 13, 1950), 157~161.
- Coughlin, R. J. "The Status of the Chinese Minority in Thailand," *PA*, 25, No. 4 (Dec. 1952), 378~388.
- ← Thompson, V. & Adloff, R. "The State's Role in Thai Economy," *FES*, 21, (July 30, 1952), 123~127.
- ↗ Hoselitz, B. F. "Plans and Prospects of Agricultural Development in Burma and Thailand," *Programs and Plans for Rural Development in Tropical and Subtropical Countries*のうち 196~207., International Ins. of Differing Civilizations 発行.
- Sharp, L. M. "Study of Thai Village," *Information Bulletin, Pacific Science Association*, 6, (Feb. 1954), 2~4.
- Coughlin, R. J. "The Chinese in Bangkok: a Commercial-Oriental Minority," *American Sociological Review*, 20, (1955), 311~316.
- "Thailand: Case Study of an Asian Immigration Policy," *Civilizations*, 5, (1955), 231~237.
- Skinner, G. W. "Chinese Assimilation and Thai Politics," *Gurdian*, 4, (Aug. 1957), 11~14.
- ↗ Yoder, A. "Patterns of Foreign Investment in Thailand," *FES*, 26, No. 11 (Nov. 1957), 170~174.
- (二) その他
- Coughlin, R. J. "Social Features of Buddhism in Thailand," *FEEER*, 20, (Feb. 2, 1956), 140~142.
- (3) ビルマ
- (イ) 一般
- Mandelbaum, D. G. "Pacification in Burma," Yone, L. & Edward, M. と共著, *FES*, 19, (Oct. 11, 1950), 182~187.
- Cady, J. F. "Burma: Outside the Commonwealth," *Current History*, 23, (Aug. 1952), 73~79.
- Cady, J. F. "The Situation in Burma," *FES*, 22, No. 5 (Apr. 22, 1953), 49~54.
- Hauser, P. H. "Research Potentialities in Burma," *Population Index*, 19, (1953), 260~272.
- Morse, R. "Burma's Domestic Recovery," *Foreign Policy Bulletin*, 33, (Dec. 15, 1953), 1~2, 8.
- Trager, F. N. "Burma," Maung, U Hla と共著, *JIA*, 10, (1956), 11~18.
- (ロ) 政治学関係
- Thompson, V. "Burma and the Two Chinas," *Foreign Policy Bulletin*, 32, No. 17 (May 1953), 1~2, 8.
- Silverstein, J. "Politics, Parties, and National Elections in Burma," *FES*, 25, (1956), 177~184.
- Trager, F. N. "Burma's Foreign Policy, 1948~56; Neutralism, Third Force and Rice," *JAS*, 16, (Nov. 1956), 89~102.
- Badgley, J. H. "Burma's Political Crisis," *PA*, 31, (Dec. 1958), 336~350.
- Silverstein, J. "Politics in the Shan State: the Question Secession from the Union of Burma," *JAS*, 18, (Nov. 1958), 43~57.
- Trager, F. N. "The New Temper of Burmese Politics," *Foreign Policy Bulletin*, 32, (1958), 177~179.
- "Political Divorce in Burma," *FA*, 37, (1958), 317~322.
- "Political Split in Burma," *FES*, 27, (1958), 145~155.
- (イ) 社会学, 経済学関係
- Silverstein, J. "Transportation in Burma during the Japanese Occupation," *Burma Research Society Journal*, 39, (1956), 1~17.
- Welsh, G. "Burma's Development Problems," *FES*, 25, (Aug. 1956), 113~122.
- Allen, R. L. "Burma's Clearing Account Agreements," *PA*, 31, (June 1958), 147~163.
- (4) マラヤ・シンガポール
- (イ) 一般
- Thompson, V. & Adloff, R. "Malaya's Three Way Problem," *Foreign Policy Bulletin*, 31, (Dec. 1, 1951), 5~7.
- Mills, L. A. "Malaya Today," *World Affairs*, 5, (Jan. 1951), 26~36.
- Butwell, R. L. "A Chinese University for Malaya," *PA*, 26, (Dec. 1953), 344~348.
- Parmer, J. N. "Malaya's First Year of Independence," *FES*, 27, No. 11 (Nov. 1958), 161~168.
- (ロ) 政治学関係
- Finkelstein, L. S. "Prospects for Self-Government in Malaya," *FES*, 21, (Jan. 30, 1952), 9~17.
- Spear, P. "Towards Self-Government in Malaya," *World Affairs Interpreter*, 23, (Apr. 1952), 38~40.
- Tinker, I. "Malayan Elections; Electoral Pattern for Plural Society?" *Western Political Quarterly*, 9, (June 1956), 258~282.
- (イ) 社会学, 経済学関係
- Pelzer, K. J. "Resettlement in Malaya," *Yale Review*, 41, (Spring 1952), 391~404.
- Parmer, J. N. "Trade Unions and Politics in Malaya," *FES*, 24, (Mar. 1955), 33~39.
- Spector, S. "Students and Politics in Singapore," *FES*, 25, (May. 1956), 65~73.
- "Employer's Associations in Malaya," *FES*,

- 26, No. 8 (Aug. 1957), 124~127.
- Kleinsorge, P. L. "Problems and Prospects of the Economy of Malaya," *Proceedings of the Western Economic Association*, (1957, 1958), 57~60.
- (5) インドシナ
- (i) 一般
- Hammer, E. J. "The Indo-Chinese Puzzle," *Foreign Policy Bulletin*, 31, (Nov. 1951).
- Riggs, F. W. "Indochina's Internal Struggle," *Foreign Policy Bulletin*, 32, No. 19 (June 15, 1953), 1~2, 8.
- Emerson, R. "Indo-China," *Yale Review*, 44, (Autumn 1954), 51~63.
- Sharp, L. M. "Paradoxes in the Indochinese Dilemma," *AAAPSS*, 294, (July 1954), 89~98.
- (ii) ラオス
- (a) 一般
- Thompson, V. & Adloff, R. "Laos: Background of Invasion," *FES*, 22, (May 1953), 62~66.
- Gilkey, R. "Laos: Politics, Elections and Foreign Aid," *FES*, 27, (June 1958), 89~94.
- (b) カンボジア
- (a) 一般
- Thompson, V. & Adloff, R. "Cambodia Moves toward Independence," *FES*, 22, (May 1953), 62~66.
- (c) ヴェトナム
- (a) 一般
- Coughlin, R. J. "The Republic of Vietnam," *FES*, 19, No. 19 (Nov. 8, 1950), 203~208.
- Thompson, V. "The Vietnamese Community in France," *PA*, 25, No. 1 (Mar. 1952), 49~58.
- Farley, M. S. "Vietnam Kaleidoscope," *FES*, 24, No. 5 (May 1955), 77~78.
- Hammer, E. J. "Vietnam, 1956," *JIA*, 10, No. 1 (1956), 28~48.
- Pauker, G. J. "The Future of Vietnam," *Foreign Policy Bulletin*, 36, (Nov. 1, 1956), 29~32.
- Hammer, E. J. "Progress Report on Southern Vietnam," *PA*, 30, (Sept. 1957), 221~235.
- Dorsey, J. T. "South Vietnam in Perspective," *FES*, 27, No. 12 (Dec. 1958), 177~182.
- (b) 政治学関係
- Hammer, E. J. "The Bao Dai Experiment," *PA*, 23, (Mar. 1950), 46~58.
- Jumper, R. "The Communist Challenge to South Vietnam," *FES*, 25, No. 11 (Nov. 1956), 161~168.
- . "Mandarin Bureaucracy and Politics in South Vietnam," *PA*, 30, (Mar. 1957), 47~58.
- Jumper, R. "Problems of Public Administration in South Vietnam," *FES*, 26, (Dec. 1957), 183~190.
- (c) 社会学, 経済学関係
- Wurfel, D. "Agrarian Reform in the Republic of Vietnam," *FES*, 26, No. 6 (June 1957), 81~92.
- Shabad, T. "Economic Development in North Vietnam," *PA*, 31, No. 1 (Mar. 1958), 36~53.
- Donnell, J. C. "National Renovation Campaigns in Vietnam," *PA*, 32, No. 1 (Mar. 1959), 73~88.
- 3 アジア全地域
- (1) 一般
- Cady, J. F. "Challenge in Southeast Asia," *FES*, 19, (Feb. 8, 1950), 21~27.
- Cressey, G. B. "Asia Looks at Latin America," *Journal of Geography*, 49, (Nov. 1950), 305~312.
- Finkelstein, L. S. "Up at Impass in Southeast Asia," *FES*, 19, (Sept. 27, 1950), 165~172.
- Lattimore, O. "At the Crossroads of Inner Asia," *PA*, 23, No. 1 (Mar. 1950), 21~33.
- Levi, W. "Union in Asia," *FES*, 19, No. 14 (Aug. 16, 1950), 144~149.
- Eberhard, W. "A New History of Asia: Review Article," *PA*, 24, No. 2 (June 1951), 190~194.
- Emerson, R. "Progress in Asia: a Pessimistic View," *FES*, 21, No. 13 (Aug. 27, 1952), 129~134.
- Goley, F. H. "How Cornell Learns about Southeast Asia," *I. I. E. News Bulletin*, 30, (Dec. 1954), 14~19.
- Lattimore, O. "Inner Asia, from Inside and Out," *PA*, 27, No. 2 (June 1954), 160~170.
- (2) 政治学関係
- Emerson, R. "American Policy in Southeast Asia," *Social Research*, 17, (Dec. 1950), 484~491.
- Fisher, H. H. "American Policy and the New Asia," *FES*, 19, (Aug. 16, 1950), 137~144.
- Sacks, M. "The Strategy of Communism in Southeast Asia," *PA*, 23, No. 3 (Sept. 1950), 227~247.
- Kahin, G. McT. "Postwar Revolutions in Southeast Asia," *Antioch Review*, 11, (June 1951), 218~221.
- Scalapino, R. A. "Democracy in Asia: Past and Future," *FES*, 20, No. 6 (Mar. 21, 1951), 53~57.
- Cady, J. F. "The Communist Threat to Southeast Asia," *Ohio Alumnus*, (Oct. 1953), 9~11.
- Emerson, R. "Problems of Representative Government in Southeast Asia," *PA*, 26, (Dec. 1953), 291~302.
- Stein, A. "Maoism or Stalinism for Asia?" *FES*, 22, No. 1 (Jan. 14, 1953), 1~5.
- Butwell, R. L. "Collective Security in Southeast Asia," *EW*, 8, (Sept. 1954), 10~13.
- . "Communist Liaison in Southeast Asia," *United Asia*, 6, (1954), 146~151.
- Emerson, R. "Paradox of Asian Nationalism," *FEQ*, 13, (Feb. 1954), 131~142.
- Butwell, R. L. "Communism's Southeast Asia Alliance," *EW*, 9, (Jan. 1955), 12~14.
- Palmer, N. D. "Organizing for Peace in Asia," *Western Political Quarterly*, 8, (Mar. 1955), 1~43.
- Benda, H. J. "Communism in Southeast Asia," *Yale Review*, 45, (Mar. 1956), 417~429.
- Cady, J. F. "Evolving Political Institutions in South-

- east Asia," *Nationalism and Progress in Free Asia*, Johns Hopkins Press, (1956), 113~127.
- Park, R. L. "Problems of Political Development," *Nationalism and Progress in Free Asia*, Johns Hopkins Press, (1956), 96~105.
- Pye, L. W. "Soviet and Neutralism," *New Republic*, 134, (June 11, 1956), 35~36.
- . "Communism in Southeast Asia," *JIA*, 10, No. 1 (1956), 77~86.
- Emerson, R. "The Progress of Nationalism," *Nationalism and Progress in Free Asia*, Johns Hopkins Press, 1956, 71~82.
- (3) 社会学, 経済学関係
- Miller, A. R. "American Investments in the Far East," *FES*, 19, No. 9 (May 3, 1950), 81~89.
- Rosen, G. "Patterns of Far Eastern Economic Development," *11th Lucknow Conference of IPR*, (1950), Document.
- Stepanek, J. E. & Prien, C. H. "The Role of Rural Industries in Underdeveloped Areas," *PA*, 23, No. 1 (Mar. 1950), 65~76.
- Paaw, D. S. "Economic Principles and State Organization," *Annals of the American Academy of Political and Social Science*, 227, (Sept. 1951), 101~112.
- Reaubens, E. P. "Economic Aid to Asia: Progress Report," *FES*, 20, (Jan. 10, 1951), 6~12.
- Thompson, V. "Labour in Southeast Asia," *FES*, 20, No. 13 (June 27, 1951), 129~135.
- Wolf, C. "Political Effects of Economic Development," *FES*, 22, No. 9 (May 2, 1951), 81~87.
- . "Economic Development and Reform in South and Southeast Asia," *FEQ*, 12, (Nov. 1952), 27~42.
- Coughlin, R. J. "Cross-Cultural Patterns in Southeast Asia," *I. I. E. News Bulletin*, 29, (Dec. 1953), 11, 14, 47.
- Nash, M. "Some Notes on Village Industrialization in South and Southeast Asia," *Economic Development and Cultural Change*, 3, (Apr. 1953), 271~277.
- Wolf, C. "Some Reflections on the Status of Economic Development in South and Southeast Asia: Report of Trip," *Economic Development and Cultural Change*, 2, (Oct. 1953), 198~208.
- Ginsburg, N. S. "The Great City in Southeast Asia," *American Journal of Sociology*, 60, (Mar. 1955), 455~462.
- Higgins, B. H. "The Dualistic Theory of Underdeveloped Areas," *EKI*, 8, (Feb. 1955), 58~78.
- Redfield, R. "The Social Organization of Tradition," *FEQ*, 15, (Nov. 1955), 13~21.
- Spencer, D. L. "Mixed Enterprise as a Tool of Economic Development: India's Contribution," *American Journal of Economics & Sociology*, 14, (Jan. 1955), 139~158.
- . "Foreign Participation in South Asian Enterprises," *FES*, 24, (Mar. 1955), 39~44.
- Fisher, M. W. "Asian Apostle of Racial Equalitarianism," *Journal of Modern History*, 28, (1956), 259~265.
- Hauser, P. M. "Economic Planning and Freedom in Southeast Asia," *FEER*, 21, (Sept. 13, 1956), 332.
- Liu, J. T. C. "Feudalism and Asian Societies," Review Article, *PA*, 29, No. 2 (June 1956), 181~186.
- Malenbaum, W. U. S. "Economic Policy in South and Southeast Asia," *India Quarterly*, 12, (Apr., June 1956), 107~117.
- Trager, F. N. "Problems of Economic Development in Southeast Asia," *JIA*, 10, (1956), 59~68.
- Hoselitz, B. F. "Urbanization and Economic Growth in Asia," *Economic Development and Cultural Change*, 6, (Oct. 1957), 42~54.
- Wolf, C. Jr. "Soviet Economic Aid in Southeast Asia: Threat or Windfall?" *World Politics*, 10, (Oct. 1957), 91~101.
- Golay, F. H. "Commercial Policy and Economic Nationalism," *Quarterly Journal of Economics*, 72, (1958), 574~587.
- Higgins, B. "Western Enterprise and the Economic Development of Southeast Asia," *PA*, 31, (Mar. 1958), 74~87.
- Hoselitz, B. F. "Economic Growth and Rural Industrialization," *EcW*, 10, (Feb. 22, 1958), 291~301.
- . "The Role of Cities and Economic Growth in Southeast Asia," *FEER*, 24, (May 22, 1958), 643~646.
- Malenbaum, W. U. S. "The Asian Economic Potential," *AAAPSS*, 318, (July 1958), 18~26.
- Shils, E. A. "The Intellectual, Public Opinion and Economic Development, in Southeast Asia," *FEER*, 24, (May 15, 1958), 614~617.
- (4) その他
- Trager, F. N. "Recent Southeast Asian Historiography," *PA*, 30, (Dec. 1957), 358~366.
- Brown, W. N. "Religion and Language as Force Affecting Unity in Asia," *AAAPSS*, 318, (July 1958), 8~17.
- Clubb, O. E. "Soviet Oriental Studies and the Asian Revolution," *PA*, 31, No. 4 (Dec. 1958), 380~389.
- . "A Soviet View of Far Eastern International Relations," *PA*, 32, No. 1 (Mar. 1959), 92~93. Review Article,
- . "Oriental Studies through Soviet Eyes," *PA*, 32, No. 3 (Sept. 1959), 307~309.

(調査研究部 平島成望)